



## VOISTAGEマルチメディアボックス基本ソフトウェア

### リリースノート

Ver.9.0.4.1

NTTデータ先端技術(株) 2017/01/25

2017年01月

**NTT DATA** NTTデータ 先端技術株式会社

## **Ver.9.0.4.1**      2017.01.25

- 下記の不具合を修正しました
  - ・ FaxReceiveメソッドを実行した際、破損したTIFファイルのデータを受信し、ページ欠落やページ切れが発生しても、FaxReceiveメソッドが失敗(戻り値:-1)とならない。ただし、ページ切れは大きく損なわれる場合を失敗とする。また、S.100 APIの「CTfaxhl\_Receve」、スクリプト命令の「FAXREC」についても同様。
- 下記の仕様を変更しました
  - ・ 基本ソフトウェアのインストール時に、インストール先のフォルダパスをキーボード入力や文字の貼り付けし、パスの最後に「VOISTAGE」と指定しても、その下の階層に「VOISTAGE」を自動で作成しないようにした。
- 下記のドキュメントを更新しました
  - ・ 本インストーラー¥Document¥バージョン移行ツールの使用方法¥バージョン移行設定ツールマニュアル.pdf [2.動作環境]の項目

---

## **Ver.9.0.4.0**      2016.06.10

- 下記の不具合を修正しました
  - ・ VS-421MBにおいて、相手機からのFAX送信を知らせるCNG信号が認識できない状況でFaxReceiveメソッドを実施する場合、まれにFaxReceiveメソッドが終了しないことがある。

---

## **Ver.9.0.3.0**      2016.04.28

- 下記の不具合を修正しました
  - ・ TxVoiceLoad実行中にDTMFを受信すると、仕様と違う戻り値”1(DTMF受信)”が返却されることがある。
  - ・ 基本ソフトウェアをインストールしたPCで、マルチメディアボックス未接続時にPCを起動すると、CPU使用率が上がる。
  - ・ バージョン移行ツールでバックアップしたファイルが変更されてしまう。
  - ・ インストール先にVOISTAGEを指定するとコアサービス設定ツールが起動しない。
  - ・ 基本ソフトウェアインストール時に配置した再配布ファイルを、アンインストール時に無条件で削除してしまう。

以下は、VS-421MBのみで発生する不具合

- ・ エコーキャンセラー機能が無効になっている。
- ・ 有音検出が出来ない場合がある。
- ・ FAX受信時に、画像データ中断されると直前のエラー検出に失敗することがある。

- ・ 相手FAX機と信号が衝突すると、FAXセッションの接続に失敗することがある。
  - ・ FAX画像データ送信時の先頭フラグ送出時間が従来の時間と異なる。
  - ・ FAX送信時、DCN送信開始後にモデム不調でシーケンスタイムアウトする。
  - ・ 2400bpsでFAX受信開始時、ネゴシエーション結果が4800bpsとなった場合、エラーと誤判断してしまう。
- 

## **Ver.9.0.2.1**    2015.11.06

- 下記の不具合を修正しました
    - ・ ページ終端が存在しない、または破損しているFAXデータを受信するとFAX受信に失敗する。
    - ・ 基本ソフトウェアインストール時に、新規購入したVS-412MBのファームウェアアップデートが失敗する。
-

## **Ver.9.0.2.0**    2015.09.18

- 下記の機能強化を行いました
  - ・ 基本ソフトウェアVer.8からVer.9へアップグレードする際、設定ファイルをバックアップし、環境を移行する「バージョン移行ツール」を追加した。
  - ・ 一括設定ツールに「有音検出設定項目」を追加した。
  - ・ プロトコログ出力により詳細な情報を出力するようにした。
- 下記の仕様変更を行いました
  - ・ Dialメソッド実行中に、接続・切断を同時に受けた場合、Dialメソッドの戻り値は-1 だが、切断理由がビジートーン検出だった場合、-3 となるようにした。
- 下記の不具合を修正しました
  - ・ USB抜き状態でLinkPlayerメソッドを実行すると応答に時間がかかる。
  - ・ LinkPlayerメソッドにより回線の奪い取りを繰り返すとLinkPlayerメソッドが失敗し続けることがある。
  - ・ 音声再生でまれに音が途切れながら再生することがある。
  - ・ FAX送受信失敗が多発し、その失敗理由が「その他のエラー」となる。

---

## **Ver.9.0.1.0**    2015.08.07

- 下記の機能強化を行いました
  - ・ USBデバイスに通信エラーが発生し、コアサービスとマルチメディアボックスの状態が不一致となる場合、マルチメディアボックスの復旧処理を行うようにした。
- 下記の不具合を修正しました
  - ・ 複数枚の特定FAX原稿を受信すると、画像が途切れてしまうことがある。
  - ・ FAX画データを受信中にFAX通信がキャンセルされると、次のFAXが正常に受信できないことがある。
  - ・ 基本ソフトウェアのインストーラーでインストール先にドライブ直下を指定するとパスが不正になる。

## **Ver.9.0.0.0**

2015.06.01

### ● Ver.9概要

- ・ VOISTAGEマルチメディアボックスVS-421MB(アナログ回線版)に対応しました。
- ・ マルチメディアボックス基本ソフトウェアVer.8.2.2.0と互換を維持しています。
- ・ 対応OSは次の通りです。

Windows 7 / 8.1

Windows Server 2008 R2 / 2012 / 2012 R2

### ● 機能追加一覧

#### ・ 新音声合成エンジン追加

従来のVoiceTextに加え、AITalk、FineSpeech V2を新たにエンジンとして追加しました。

[注意事項]

VoiceText、AITalk、FineSpeech V2をご利用の際は、マルチメディアボックス音声合成オプションが必要です。

#### ・ 1ページ毎のFAX送信/受信イベント通知追加

FAX送信または受信時に1ページ毎に完了した場合にイベント通知するようにしました。

FAXページ送信通知: FaxSendPageDetectイベント

FAXページ受信通知: FaxReceivePageDetectイベント

#### ・ 電話回線ケーブル抜去検出機能追加

電話回線ケーブルが抜けた状態で発信すると、回線抜去をWindowsイベントログ(アプリケーション)に記録するようにしました。

#### ・ 一括設定ツール追加

回線/筐体毎に設定していた次の3機能について、本ツールにより全ての回線/筐体に対し、一括設定できるようにしました。

- 1.発呼時、ダイヤルトーン(DT)検知設定
- 2.RBT検出時間設定
- 3.みなし接続設定

#### ・ マルチメディアボックスの再接続(もしくは電源OFF/ON)を強化

マルチメディアボックスの再接続時、従来はPCの再起動が必要でしたが、コアサービスの再起動のみ行うことで使用できるようにしました。

・ ログファイル出力の機能強化

- 1.VOISTAGE Core Serviceが起動しているとき、基本ソフトウェアのログファイル保存にCOPYコマンドが適用できるようになりました。
- 2.PSTNのログを出力するようにしました。(VS-421MBのみ)

・ 内部利用データベースの選択

StagePalette、StagePlayerの内部設定データ保存に、従来のMDBに加え、SQLiteを選択できるようにしました。  
(初期値:MDB)

・ 筐体構成の維持

基本ソフトウェアインストール時の筐体構成から部分的にマルチメディアボックスを除いても回線番号を振り直さず維持するようにしました。

● **注意事項**

本ソフトウェアに含まれているVOISTAGEオンラインヘルプは、マルチメディアボックス基本ソフトウェアVer.7、Ver.8に含まれている内容と同一です。

最新のVOISTAGEオンラインヘルプにつきましては、下記のURLにアクセスしてください。

[https://sites.google.com/a/voistage.com/vs\\_help/](https://sites.google.com/a/voistage.com/vs_help/)